

講評

出題の意図

高等学校で学習した英語の知識や運用力がどの程度身につけているかを確認することが本試験の目的です。文法・英作文・会話文・読解まで、幅広く学習しておくことが大切です。複雑な国際化が進んでいる今こそ「コミュニケーション能力」が必要とされています。ただ会話の内容を考えるだけでなく、話している人たちの立場やその会話が行われている場面・状況までもしっかりと把握することが必要です。会話文特有の表現も使いこなせるようにしてください。

長文読解では論旨の展開を的確に読み取る力が必要とされます。ある程度の長さのある英文を、論旨は何か、主題は何かということ、段落ごとに区切って、考えながら読んでいきましょう。

次の①～⑥の項目についてさまざまな設問形式で出題します。

- ①長文読解（文脈を見据えた内容把握など）
- ②会話文読解（会話の流れの把握・会話定型表現の知識など）
- ③発音・アクセント
- ④文法・語彙・語法
- ⑤英語表現（語句整序）
- ⑥会話表現（短い会話の完成）

出題内容・解説

正答率が低いものを中心に、解答のポイントを解説します。

「3月5日午前」

- Ⅰ B・問4 正解は②。「チコは過去に、親戚と一緒にアメリカを旅したことがある」です。チコの二つめのセリフに、“My uncle took me there when I was in junior high school”（「中学生のとき、おじがそこ（グランドキャニオン）へ連れて行ってくれた」とあり、②の文と一致します。多くの皆さんが選ばれた①は、「チコとパットは一緒にどこかへ旅する計画を立てている」ですが、本文を読むと、チコ本人がどこへ行きたいか、という点に焦点が当たっており、一緒に旅する計画のようには聞こえません。③の、「パットは、チコにもっと自然の中で過ごすよう勧めている」を選んだ人も多かったのですが、そもそもチコは最初に「典型的リゾートとかパーティースタイルの旅には興味がない」と言っており、むしろ自然の方に興味があることを暗示しています。それに対してパットが、「私もそういう環境（リゾート・パーティー風）は好きじゃない」、とチコに同意していますから、自然の方を「勧めている」わけではありません。

「3月5日午後」

- Ⅰ B・問3 正解は①。下線部、“I don't think I have it in me to live in another country”は、「外国で暮らせるとは思わない」という意味です。Have it in 人 (to do) で、「(…する) 能力がある」。①は「ジョージは外国に移り住む (move) ことができるとは思わない」ですから、一致しています。多くの皆さんが選ばれた③は、「ジョージには海外旅行をする自信がない」という意味で、「海外旅行」と「外国で暮らす」ことは別ですね。
- Ⅱ・問1-1 正解は④。Building の ui は /ɪ/ です。同じ音は、women の o の部分です。「ウイミン」、といった感じの発音です。正しい発音を知っておくべき単語ですので、これを機会にぜひ覚えておきましょう。
- Ⅱ・問4-2 正解は①。間違いを見つける問題です。“We reached to the top of the mountain...”とありますが、この場合の reach（「到着する」）は他動詞ですので、to という前置詞は不要なのです。目的地などに「到着する」という意味の場合、他動詞であることを、覚えておきましょう。また、「届く」という意味で、さまざまな他動詞の用法があります。例えば、“Can you reach the top shelf?”ですと、「いちばん上の棚に手が届く?」となります。便利な表現ですよ。さらに、“The news reached me yesterday”は、「その知らせはきのう届いた」という意味です。一方、自動詞の reach もありますが、「[手などを] 伸ばす」という意味で主に使います。例えば、“She reached over and picked up her bag.”「彼女は手を伸ばして鞆を取った」のように使います。

学習のポイント・アドバイス

動詞には、他動詞と自動詞があります。日本人の英語学習者がつまずきやすい点ですが、これを見分けることはとても大事です。例えば reach という動詞について、どういう意味のときに他動詞、あるいは自動詞になるのか、例文と一緒に理解し、頭に入れるようにするといいでしょう。間違えやすい動詞はわりと限られていますから、まとめて覚えておくのも一案です。そのときに役に立つのが英和辞書です。辞書で動詞を引けば、他動詞、自動詞と分けて、とてもわかりやすく説明されていますし、例文もたくさん載っていますから、ぜひ活用してください。

解答例（一般選抜(C日程)・英語)

3月5日午前

英語・選択-1

I		II	
ア	④	ア	③
イ	③	イ	①
ウ	②	ウ	④
エ	④	エ	②
オ	②	オ	④
カ	③	カ	③
キ	①	キ	①
ク	②	ク	②
ケ	②	ケ	①
コ	①	コ	③
サ	③	サ	④
シ	④	シ	②
ス	②	ス	①
		セ	④
		ソ	②
		タ	②

3月5日午後

英語・選択-2

I		II	
ア	③	ア	④
イ	①	イ	②
ウ	③	ウ	②
エ	①	エ	③
オ	②	オ	②
カ	①	カ	④
キ	④	キ	①
ク	②	ク	③
ケ	②	ケ	①
コ	④	コ	①
サ	①	サ	①
シ	①	シ	⑤
ス	③	ス	④
		セ	①
		ソ	②
		タ	①

講評

出題の意図

高等学校で学習した内容を正しく理解できているかどうか、さらにそれらを活用できるかどうかを確認します。出題範囲の各単元から幅広く、基礎的な問題と応用力が必要な問題を出題します。さまざまな定理や公式を確実に理解するとともに、意味や考え方を大切に、それらを適切に使えるように練習を十分に積んでおいて下さい。また、題意を正確に把握する力と確かな計算力も求められます。

出題範囲は、数学Ⅰ、数学A（「数学と人間の活動」を除く）とし、主に、以下の内容を確認する問を出題します。

- ①さまざまな定理や公式の理解
- ②問題に対して定理や公式を適用する力
- ③題意を把握し、問題を整理する力
- ④確かな計算力

解答方法は、選択肢から答えを選ぶものではなく、解答欄の形式に合わせて数字や記号を当てはめていく方法です。

出題内容・解説

全体に渡って標準的な問題が出題されました。各単元において、基本的な事柄の理解を問う問題では正答率が概ね高い結果となりました。正答率の低かった問題の中で、解けるようになってもらいたい問題を以下に挙げますので、学習の参考にして下さい。

(1) 「数と式」

概ね正答率の高い結果となりました。平方根の値を評価する問題では正答率がやや低い結果となりました。

「3月5日午前」Ⅰ [A] (4) : 平方根の値を評価する問題

(2) 「2次関数」

図形の表現力を要する複合的な問題や、定義域に文字定数が含まれる場合の最大値、最小値を求める問題では正答率が低い結果となりました。

「3月5日午後」Ⅱ (2) : 図形の表現力を要する複合的な問題

「3月5日午後」Ⅱ (4) : 定義域に文字定数が含まれる場合の最大値、最小値を求める問題

(3) 「図形と計量」「図形の性質」

いくつかの条件を正しく読み取り、それらを組み合わせて解いていく複合的な問題では正答率が低い結果となりました。

「3月5日午前」Ⅱ (3) : 図形の性質を正しく読み取りながら解いていく問題

「3月5日午後」Ⅱ (4) : メネラウスの定理を活用する問題

(4) 「場合の数と確率」

概ね正答率の高い結果となりました。条件付き確率を求める問題では正答率がやや低い結果となりました。

「3月5日午後」Ⅰ [B] (4) : 条件付き確率を求める問題

学習のポイント・アドバイス

各単元における基礎的な問題を解くことができることはもちろん、単元をまたぐ複合的な問題にも対処できる力が必要です。公式や解法パターンの暗記にとどまらないように、意味や考え方を大切にして下さい。また、問題場面から条件を整理して、公式や定理などを適切に用いて解決できるような力をつけて下さい。図形の問題では、問題に則した図を正しく描くことや適切な補助線を引くことが重要になりますので、日頃からしっかりと練習しておいて下さい。さらに、問題を最後まで解ききる確かな計算力もつけて下さい。

解答例 (一般選抜(C日程)・数学)

3月5日午前

3月5日午後

英語・選択-1

英語・選択-2

I		II		I		II	
ア	4	ア	6	ア	2	ア	2
イ	4	イ	0	イ	5	イ	1
ウ	4	ウ	1	ウ	5	ウ	1
エ	1	エ	0	エ	5	エ	2
オ	7	オ	3	オ	5	オ	5
カ	1	カ	0	カ	5	カ	2
キ	5	キ	2	キ	4	キ	5
ク	3	ク	5	ク	2	ク	1
ケ	3	ケ	8	ケ	3	ケ	2
コ	4	コ	3	コ	2	コ	1
サ	8	サ	5	サ	1	サ	2
シ	1	シ	8	シ	3	シ	7
ス	2	ス	3	ス	1	ス	6
セ	2	セ	5	セ	1	セ	2
ソ	5	ソ	3	ソ	1	ソ	1
タ	3	タ	2	タ	5		
チ	—	チ	5	チ	1		
ツ	9	ツ	3	ツ	1		
テ	2	テ	1	テ	5		
ト	1	ト	2	ト	2		
ナ	1	ナ	2	ナ	3		
ニ	3	ニ	5	ニ	3		
ヌ	6	ヌ	3	ヌ	0		
ネ	3	ネ	1	ネ	3		
ノ	3	ノ	2	ノ	1		
ハ	2			ハ	0		
ヒ	9			ヒ	5		
フ	6			フ	9		

講評

出題の意図

国語においては、基礎学力の確認を目的として出題します。日ごろの学習を着実に積み重ねておけば取り組める標準的な問題ですから、語句の知識を身につけ、文章の論理展開を丁寧におさえて読み取る練習を積み重ねればよいでしょう。

- ①【漢字の知識】常用漢字（一部常用外）の書き取り・読み、および常識として知っておいてほしい読み
- ②【語句の知識】慣用表現、語句の意味など
- ③【文脈を読み取る力】指示内容、接続語、文中の言い換え、内容・理由などの理解
- ④【広く文脈を読み取る力】論理展開、筆者の主張や内容、趣旨合致など、文章全体の理解

出題内容・解説

2025年度入試C日程の問題から特に正答率の低かった問題を中心に取り上げて解説してゆきます。なお、C日程は午前と午後で2問ありましたが、いずれもよく解答できていました。

●「3月5日午前」

問二（う）「ソウダイ」と同じ漢字を含むものを選択する問題で誤答が目立ちました。「ソウダイ」は「壮大」と書くので正答は②「ヒソウ（悲壯）」ですが、①「ソウゴン（莊嚴）」とする解答が多かったです。「壯」と「莊」は形は似ていますが異なる漢字ですから、混同しないように気を付けましょう。また、②「ヒソウ」を「悲愴」と考えて避けたとも考えられますが、「悲壯」と「悲愴」は別語で、「悲壯」は悲しい中にも勇ましさがあることを指すのに対し、「悲愴」は悲しく痛ましいさまを指します。②には「ヒソウな決意を称える」とあるので「悲壯」を思い浮かべるべきです。漢字だけでなく同音異義語にも十分に注意して学習しましょう。

続いて問八の傍線部（2）「功利主義の根底にあるこの『配慮の平等主義』とはどういうことかを答える問題も正答率が高くありませんでした。傍線部内に「この」という指示詞がありますから、傍線部と関係する内容がこれより前に書かれていることが分かります。そこで直前の1文を見ると、功利主義ではお金持ちか貧しい人か、肌の色は何か、男か女かといった違いを問わず「誰の幸福であれ無差別平等」に扱うことが説明されています。こうした内容に合致するのは、「属性による欲求の違いを無視した平等を前提」と説明している③です。指示詞が出て来た際には、それが何を指すのか注意しながら文章を読む習慣を身につけておきましょう。

●「3月5日午後」

問四のうち空欄Ⅲに入る適当な語を選ぶ問題で誤答が多かったです。空欄Ⅲの前の文では、「平等」という理想と「自由」という理想で目指すところが真逆に見えることが述べられており、空欄Ⅲの後では、両者の背景に共通するところがあつたことが補足的に説明されています。そのため空欄Ⅲに入るのは、逆接的に内容を補説する⑦「ただし」となります。「ただし」と似た使われ方をする⑧「しかし」と迷ったかもしれませんが、「ただし」と比べてよりシンプルに逆接を示す「しかし」は、ここより前の空欄Ⅰにおいて解答すべきものでした。

また、問五の空欄Cに入る語を選ぶ問題も正答率が良くありませんでした。空欄Cの前の段落では、コロナ禍において強力な都市封鎖が行われず、それが「『民主主義』と『自由』の勝利として称賛されてきた」日本の状況が説明されています。そして空欄Cの後では、単に国家が無力で都市封鎖がなされなかったのではなく、「経済発展を推し進めるという強い意向のもと…都市封鎖を拒否」したのではないかと、「国家の無力ではなく、むしろ死のなかに私たちを放置する国家的な力の強力な発動がみられた」と述べられています。空欄Cには、都市封鎖をしないことによって経済発展を推し進めようとする国家の姿勢を許容した日本の状況を説明する語が入るため、④「追認」が正解です。③「示唆」という解答が多く見られましたが、「それとなく教え示す」ことを意味する「示唆」は上記の文脈にそぐわないでしょう。「示唆」は評論文でよく使われる語ですから、こういった意味なのか把握しておきましょう。

学習のポイント・アドバイス

現代文の出題では、現代社会が形成されるまでの動向を分析したものや現代社会における重要な問題を扱ったものを多く採用しています。教科書や参考書に掲載されている文章だけでなく、新聞の社説・論説や新書の類いなどにも広く触れ、さまざまなテーマの文章を読んでおくようにしてください。

解答例 (一般選抜(C日程)・国語)

3月5日午前

3月5日午後

英語・選択-1

英語・選択-2

I

I

ア	④
イ	⑤
ウ	⑤
エ	①
オ	②
カ	④
キ	③
ク	③
ケ	②
コ	④
サ	②
シ	③
ス	④
セ	⑧
ソ	①
タ	③
チ	⑤
ツ	③
テ	④
ト	③
ナ	③
ニ	②
又	①

ア	②
イ	②
ウ	②
エ	⑤
オ	①
カ	④
キ	③
ク	②
ケ	④
コ	⑤
サ	⑧
シ	④
ス	⑦
セ	①
ソ	④
タ	③
チ	④
ツ	⑤
テ	④
ト	①
ナ	②
ニ	③
又	④